

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
株式会社カネパ

発行責任者
濱崎 博

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

学区役員選任規定改定、継続協議

7年度、現行の規定で役員選出

自治連改革

自治連改革のひとつ、改定を検討していた学区役員選任規定。2月15日に開いた学区自治連定例会役員会で各丁の意見がまとまらず4月に予定される7年度通常総会での議案提案が見送られることになった。改定案は、7年度に継続して検討するが、改定案が決まるまでは、現在の役員選任規定が適用され、従来の方式で自治連役員を選出することになる。

自治連改革については、定案が成立したことを受けて、自治連執行部は、役員選出の具体策を定めた役員選任規定改定作業に着手、12月の定例会役員会で改定規定の素案を提示、各丁に対し、意見を求めた。自治連改革については、定案が成立したことを受けて、自治連執行部は、役員選出の具体策を定めた役員選任規定改定作業に着手、12月の定例会役員会で改定規定の素案を提示、各丁に対し、意見を求めた。

よび連合会担当役員1名の計2名の名を挙げてもらっていたが、改定案では「単位自治会の会長1名」と「自治会から推薦を受けた連合会担当役員、若干名」にあらためた。自治会長1名の自治連役員選任は従来とかわらないが、自治会推薦の役員候補者を若干名としたのは、自治連会則改定で、自治連役員が減員さ

れたことに伴うもの。自治連執行部としては、役員選任にあたっては、継続就任を求めており、継続就任が常態化する中で、新たな候補者を選出する必要が少なくなり、送り出す各丁自治会の負担軽減にもつながるのではないかとみている。

素案について2月の定例会で各丁の意見を求めたが、各丁側から現行の方式での選出を求める意見や高齢化と担い手不足で、自治連担当役員送り出しに難色を示す丁もあり意見がまとまらなかった。

令和7年度の琵琶湖市民清掃は、6月8日の日曜日、市内36学区で一斉に行うことが2月17日大津市役所で開かれた琵琶湖を美しくする運動実践本部（本部長・北川吉男市自治連会長）の役員会で決まった。予備日は6月15日。予備日が中止の場合は、再度の延期は

なく市民清掃は中止となる。7年度の琵琶湖市民清掃実施要綱によると、熱中症対策の観点から清掃時間は最長2時間程度と設定、出たゴミは、あらかじめ指定された場所に出し、指定された場所以外に出したごみは回収されない。

昨年には比べ10時から始まり、すべてのゴミ回収が終わるの夕方までかかる見込みという。昨年の琵琶湖清掃では、予備日に延期された清掃日本番、雨に見舞われ各学区で対応が分かれ一時混乱したところがあつた。今年延期、中止の判断は、前日の土曜日午後4時以降に行い、その時点での判断が難しい場合は、当日の午前5時に判断する。告知については、当日の午前6時から6時5分の間、びわこ放送の字幕で表示、実践本部のホームページにも掲載する。

実践本部では、市民清掃は参加を強制する行事ではないことを強調、実践本部が実施を判断しても市内各地で天候の状況が異なることがあり、最終的に現地の判断にまかされる。そのさい、事前に準備した清掃物品等の返品や経費の返金は求めないことになった。（昨年6月の雨の琵琶湖市民清掃・日吉台4丁目東地区で撮影）

地域功労表彰者

令和7年度、自治連総会で顕彰

日吉台学区内で、福祉・文化・体育・防犯・防災・環境・青少年育成等の活動で地域振興に多大な功績及び功労のあった方を顕彰する令和7年度日吉台学区地域功労者が2月15日開いた学区自治連定例会役員会で決まった。自治連定例会表彰規定に基づき、学区自治連各自治会、学区内各種団体に対象者の推薦を求め今年度は6氏の受賞が決定した。

令和7年度 地域功労表彰者名簿

氏名 (推薦団体)	活動分野	活動概要
木全 和子 (二丁目北自治会)	地域クラブ活動 環境美化	二丁目北自治会をベースにヨガやハーモニカのクラブを発起し、自治会内外で活動を展開・継続、地域の健康維持や文化活動に貢献された。また、集会所の「桜の木お蔵」周辺の美化活動にもご協力いただいている。
岡崎 厚子 (三丁目東自治会)	防災 青少年育成	三丁目東防災部で副部長などを歴任、継続的に地域防災部の活動を担ってきた。また、長年スポーツ振興本部役員としてスポーツ振興に尽力し、夢未来事業のラジオ体操などの運営などにも協力された。
上嶋 徳久 (三丁目西自治会)	スポーツ振興 防災・防犯	30年以上の長きにわたりスポーツ少年団やスポーツ振興会を通じて地域スポーツを指導し、また消防団員を17年、学区の自主防災会員を15年、自主防犯会員を15年など、地域の安心安全にも大きく貢献された。
森田 成子 (自主防犯推進会)	防犯 子ども見守り	自主防犯推進会会員として20年間地域の防犯活動を継続、特に子どもたちの安心・安全のために、2011年からスクールガードとして登下校見守りを実施し、現在も高橋川横断歩道付近で子どもたちの見守りを続けている。
佐藤 秀蔵 (老人クラブ連合会)	高齢者福祉	一丁目老人クラブ「平石クラブ」に2016年入会後、同会健康推進委員長、副会長を歴任、2018年からは学区老人クラブ事務局長として資料準備、出席者管理、予算調整などを通じて同会活動やイベント実施に大きく貢献された。
中川 せつ子 (社会福祉協議会)	福祉	2010年以來社会福祉協議会運営委員・次長を歴任し、ふれあいサロン・ふれあい給食・子ども食堂のスタッフや、日吉台ささえあいの会計係など、長年にわたり同会活動に尽力された。

敬称略、順不同

各種団体助成金等、6年度と同額に据え置く

7年度自治連会計予算編成方針

令和6年度学区自治連会計決算概要と令和7年度日吉台学区自治連会計予算編成方針案がまとまり、2月15日の自治連定例会役員会で了承された。決算概要では、大津市のパワーアップ助成金10万円の追加収入があり、ほぼ収支均衡が図れる決算見込みとなった。一方、7年度の予算編成方針で

は、毎年2%の会員減が見込まれ収入減が避けられないことから日吉台まつり、学区民大運動会はじめ各種団体助成金などについては、6年度当初予算額に抑える編成方針が承認された。

一方、各丁からの新年度役員報告では、各自治会長のうち4人、自治連担当役員6人が引き続き

留任する見込み。また地域功労表彰では自治会で3人、各種団体で3人計6人の表彰推薦が行われた。

下り坂走行注意

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

制限速度を守り 終端付近では最徐行

